

士幌町第 3 期地域福祉計画・士幌町第 5 期地域福祉
実践計画策定に係る町民意識調査結果報告書

平成 28 年 3 月

士幌町・士幌町社会福祉協議会

I	調査の概要	
1.	調査設計	30
2.	回答者の属性	31
II	調査結果	
1.	ご近所との関わり方について	33
2.	地域の中での助け合いについて	35
3.	地域活動について	42
4.	生活に困っている方への支援について	44
5.	ご意見・要望	45
III	地域福祉に関するアンケート	49

I 調査の概要

1. 調査設計

(1) 目的

士幌町・士幌町社会福祉協議会では、地域福祉を推進していく上で、長期的な視点に立ち、自助・共助・公助の意識醸成を図りながら、継続的な福祉施策を展開していくため「士幌町地域福祉計画」「士幌町地域福祉実践計画」を策定しています。平成28年度に「第3期士幌町地域福祉計画」「第5期士幌町地域福祉実践計画」を策定するにあたり、地域福祉に関する町民の意向、課題を吸い上げて計画に反映させていくことを目的にアンケート調査を実施します。

(2) 調査項目

- ①ご近所との関わり方について
- ②地域の中での助け合いについて
- ③地域活動について
- ④生活に困っている方への支援について
- ⑤あなた自身のことについて

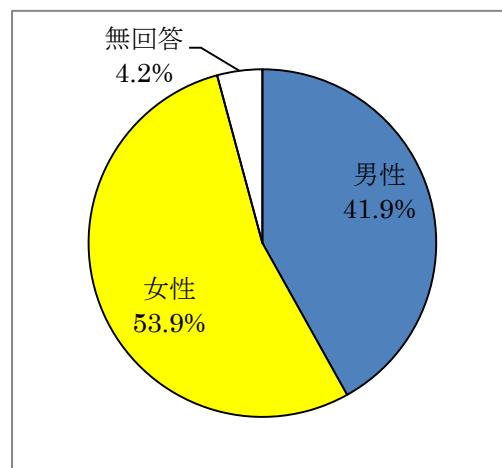
(3) 調査仕様

- ①調査対象：18歳以上の町民
- ②対象サンプル数：無作為抽出による600名
- ③調査方法：郵送による送付・回収
- ④調査期間：平成27年9月15日～平成27年10月20日
- ⑤有効回収数：267件（有効回収率44.5%）

2. 回答者の属性

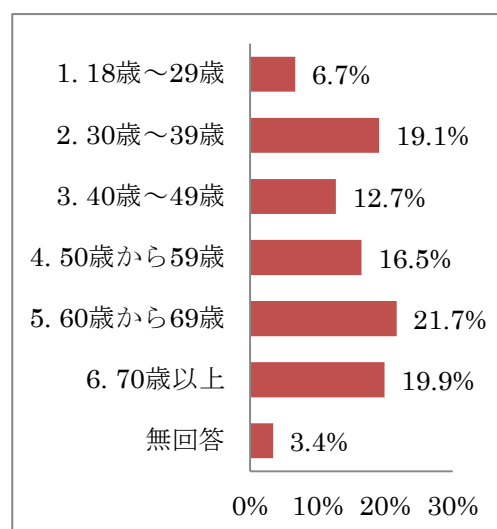
(1) 性別【問 20】

「男性」が 41.9%、「女性」が 53.9%で、「女性」の割合が高くなっている。



(2) 年齢【問 21】

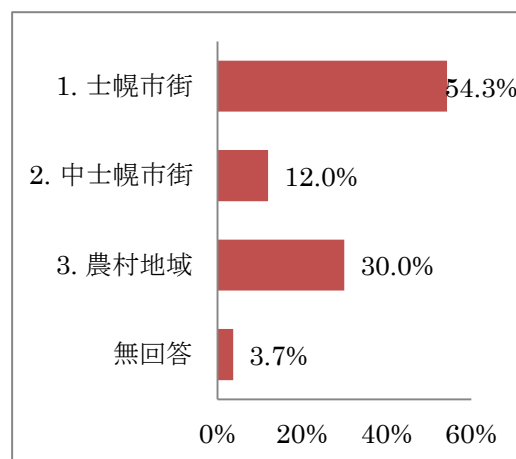
構成比が高い方から「60歳から69歳」(21.7%)、「70歳以上」(19.9%)、「30歳～39歳」(19.1%)、「50歳～59歳」(16.5%)、「40歳～49歳」(12.7%)、「18歳から19歳」(6.7%)の順となっております。



(3) 住んでいる地域【問 22】

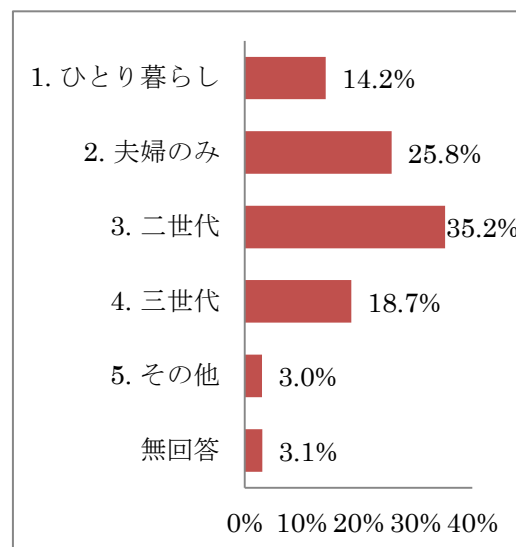
「士幌市街」の 54.3%が最も構成比が高く、以下、「農村地域」(30.0%)、「中士幌市街」(12.0%)の順となっています。

※ 回答は、回答地域の割合です。地区別の回答率ではありません。



(4) 世帯の形態【問 23】

「二世帯（親、子）」の 35.2%が最も多く、これに「夫婦のみ」25.8%、「三世帯」18.7%、「ひとり暮らし」14.2%が続いています。

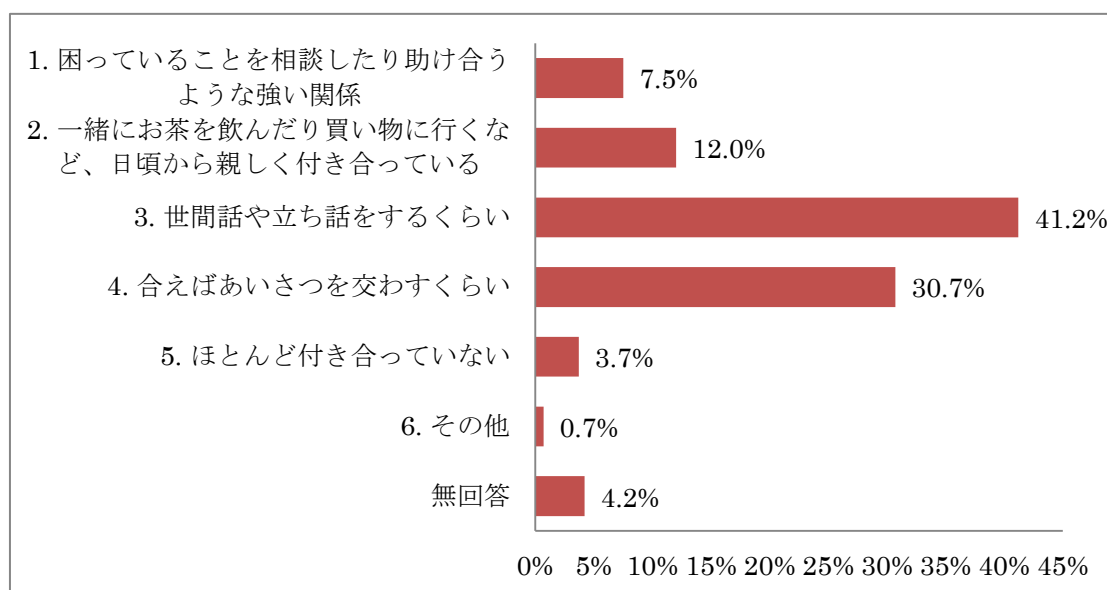


Ⅱ 調査結果

1. ご近所の関わり方について

(1) ふだんのご近所の人との付き合い【問1】

「世間話や立ち話をするくらい」の41.2%が最も多く、これに「合えばあいさつを交わすくらい」30.7%、「一緒にお茶を飲んだり買い物に行くなど、日頃から親しく付き合っている」12%が続いています。「ほとんど付き合っていない」は3.7%。

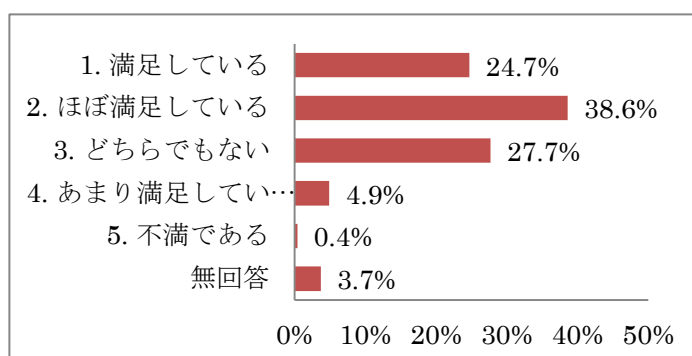


その他回答 ○作っている野菜を頂いたり、お返ししたりしています。

○普段は③ですが困った時に仕事を手伝ってもらったり、野菜を持って行ったりしています。

(2) ご近所とお付き合いの満足度【問2】

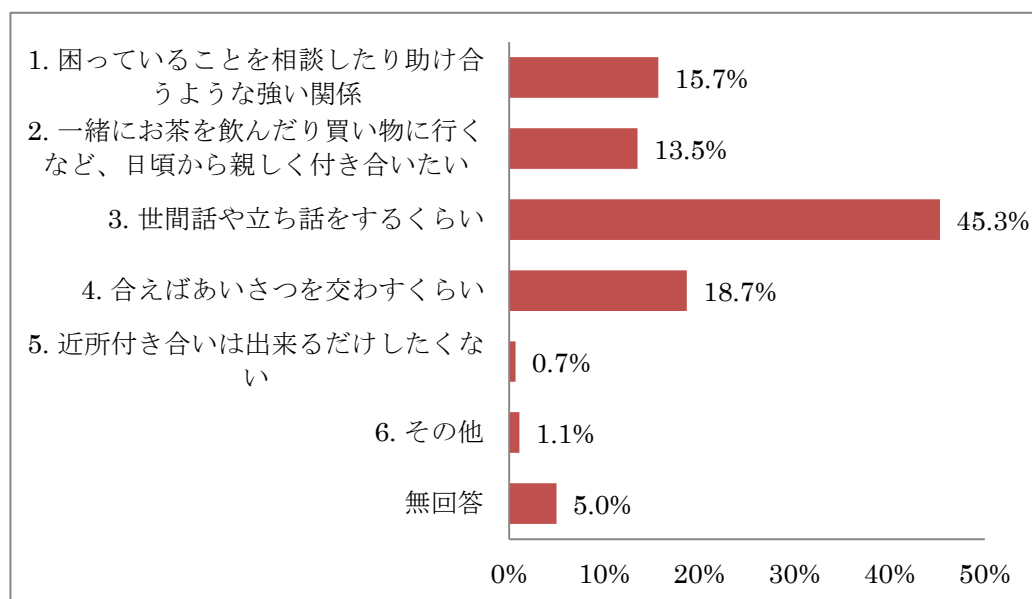
「ほぼ満足している」の38.6%が最も多く、これに「どちらでもない」27.7%、「満足している」24.7%が続いています。「満足している」と「ほぼ満足している」を合わせた『満足している』は、63.3%となっております。



(3) ご近所付き合いの在り方についての希望【問3】

「世間話や立ち話をするくらい」の45.3%が最も多く、これに「合えばあいさつを交わすくらい」18.7%、「困っていることを相談したり助け合うような強い関係」15.7%が続いています。

ご近所付き合いについて問1では現状、問3では希望を聞いており、選択肢ごとに回答割合を比較すると、現状よりも希望の方が隣近所とのより強い関係を示す選択肢の割合が高くなっており、今以上の強い関係が全般的に望まれていることがうかがえます。



その他回答 ○今のように野菜を頂いたり、こちらに来て間も無いので、分からない事を教えて頂いたりのお付き合いをしたいと思います。

○自分だけで抱え込む、相談しづらい

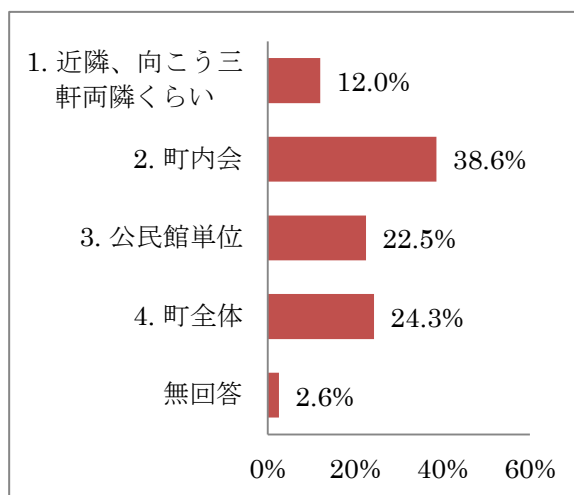
○健康でいる。笑顔で挨拶出来る付き合い

○年中強い関係でなくとも、困った時は気軽に助け合ったりできる関係

2. 地域の中での助け合いについて

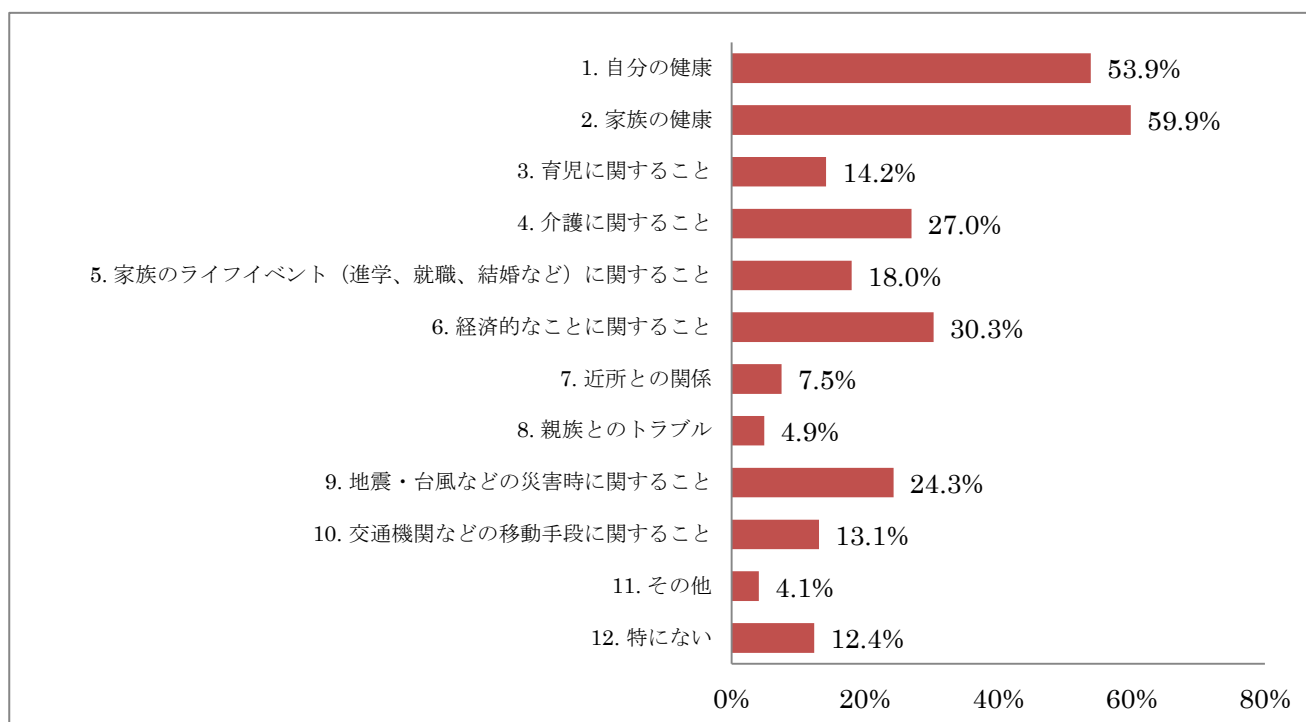
(1) 「地域の一人」として考えるときの「地域」の範囲【問4】

「町内会」の38.6%が最も多く、これに「町全体」24.3%、「公民館単位」22.5%が続いています。



(2) 毎日の暮らしの中の不安や悩み【問5】※複数回答

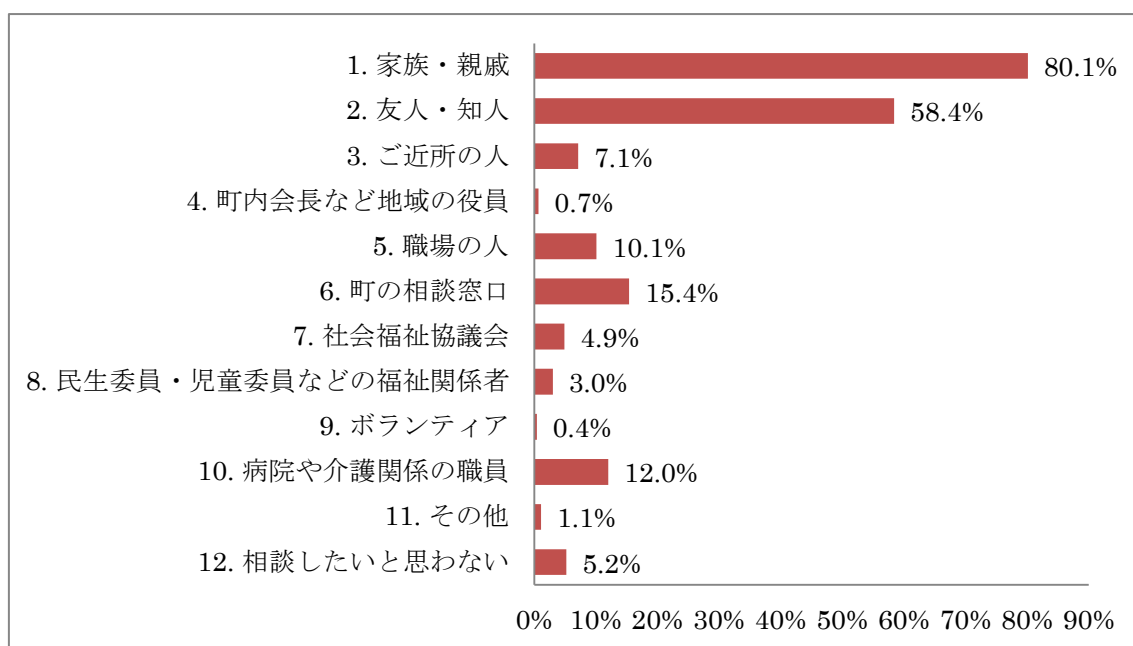
「家族の健康」が59.9%で最も多く、以下、回答割合が高い方から「自分の健康」53.9%、「経済的なことに関すること」30.3%、「介護に関すること」27.0%、「地震・台風などの災害時に関すること」24.3%の順となっています。



- その他回答 ○職場の人間関係他 仕事関係（2件）
- 帯広勤務のため飲み会があると交通等が不便なため一泊しなければならないこと。
 - 保育園に通わせている方とのトラブル
 - 士幌フーズ周りの建設物の影響。臭いや電波干渉
 - スピードを出して自動車運転する人が多い。とても怖い。中にはJ Aの車もある。
 - 自分で抱え込んでしまう。相談しづらい。

(3) 悩みや不安を相談したいと思う相手【問6】※複数回答

「家族・親戚」が80.1%で最も多く、以下、回答割合の高い方から、「友人・知人」58.4%、「町の相談窓口」15.4%、「病院や介護関係の職員」12.0%、「職場の人」10.1%の順となっています。

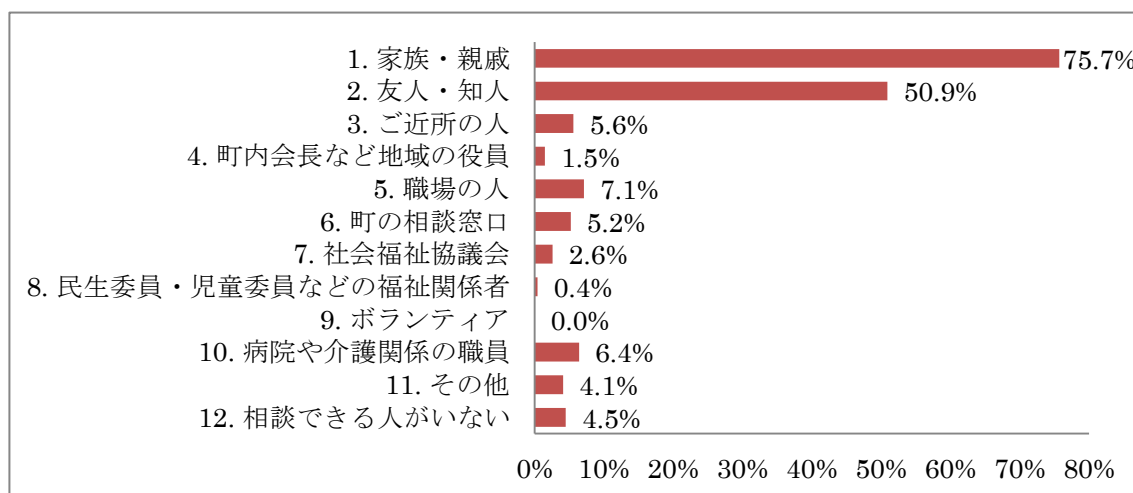


- その他回答 ○経済的な点は相談が難しい

(4) 悩みや不安の実際の相談相手【問7】※複数回答

「家族・親戚」が75.7%と最も多くを締め、以下、回答割合の高い方から、「友人・知人」50.9%、「職場の人」7.1%、「病院や介護関係の職員」6.4%の順となっています。

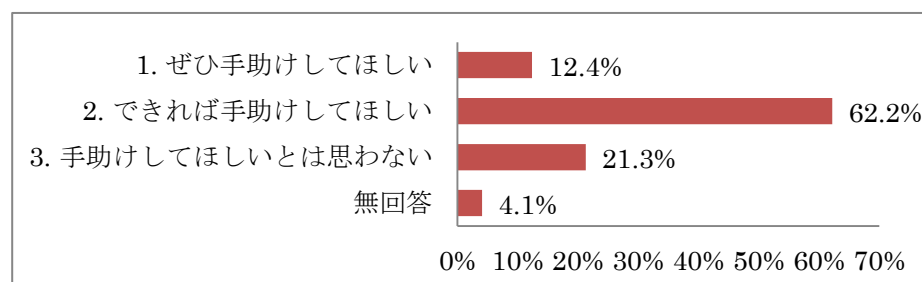
悩みや不安の相談先について問6では希望、問7では現状を聞いており、選択肢ごとに回答割合を比較すると、「町の相談窓口」と「民生委員・児童委員などの福祉関係者」「社会福祉協議会」が希望より現状の割合が低くなっており、公的な機関や制度に相談したいとは思いますが相談するまでに至っていない人がいることがうかがえます。



- その他回答
- 今の所悩みや不安が無いので相談することが無い
 - 今の所特になし
 - 悩んでも仕方ないと割り切っています
 - こども園の先生
 - 相談相手が居ても打ち明けるのが嫌で言わない

(5) 生活上の問題で悩んでいるとき、ご近所の人たちから手助けをうけることについて【問8】

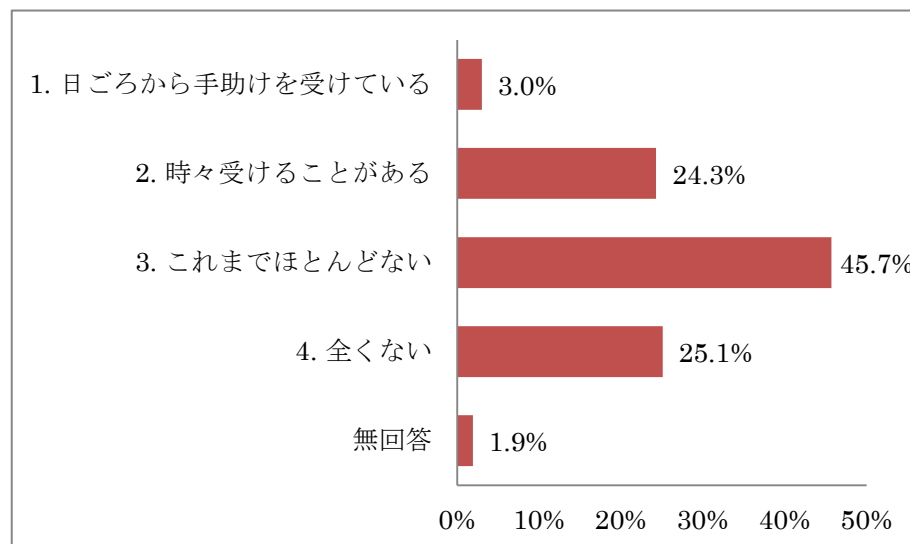
「できれば手助けしてほしい」の62.2%が最も多く、これに「手助けしてほしいとは思わない」21.3%、「ぜひ手助けしてほしい」12.4%と続いています。「できれば手助けしてほしい」と「ぜひ手助けしてほしい」を合わせた『手助けしてほしい』人の割合は74.6%を占めています。



(6) ご近所の人たちの手助けを受けた経験【問9】

「これまでほとんどない」の45.7%が最も多く、これに「全くない」25.1%、「ときどき受けることがある」24.3%が続いています。

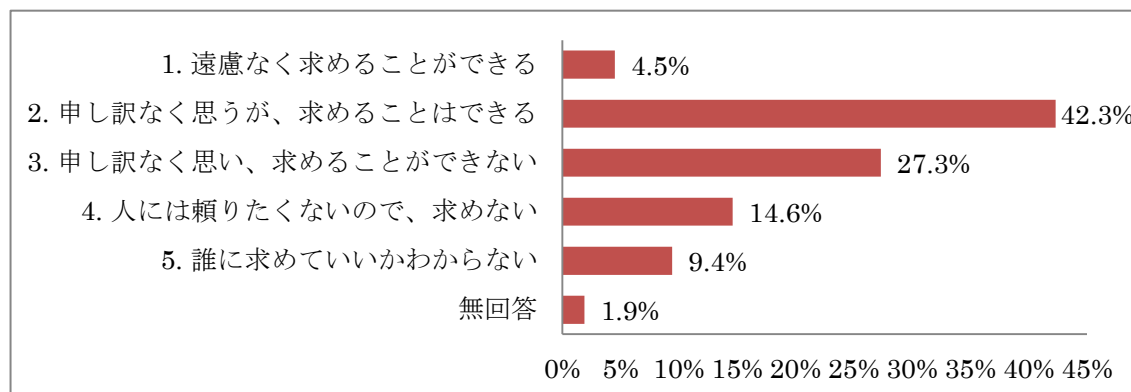
「日ごろから手助けを受けている」と「時々受けることがある」を合わせた『手助けを日常的に必要としている人』の割合は27.3%となっています。



(7) 生活上の問題で、ご近所に助けを求めることについて【問10】

「申し訳なく思うが、求めることができる」の42.3%が最も多く、これに「申し訳なく思い、求めることができない」27.3%、「人には頼りたくないので、求めない」14.6%が続いています。

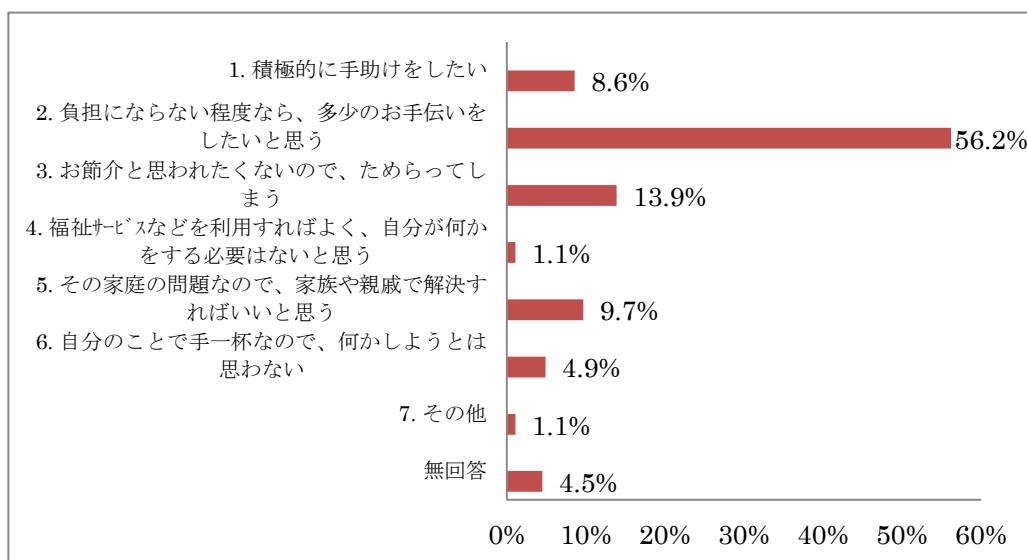
「申し訳なく思い、求めることが出ない」と「人には頼りたくないので、求めない」「誰に求めていいかわからない」を合わせた『求めることができない』人が全体の51.3%を占めています。



(8) ご近所で悩みを抱える人がいた場合の対応【問 11】

「負担にならない程度なら、多少のお手伝いをしたいと思う」の 56.2%が最も多く、これに「お節介と思われたくないので、ためらってしまう」13.9%と続いています。

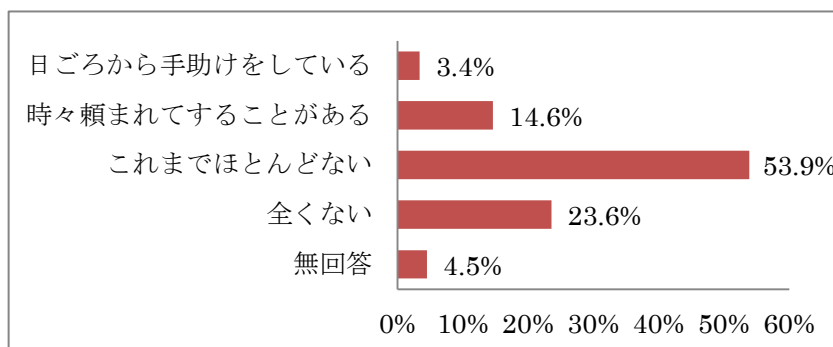
「積極的に手助けをしたい」と「負担にならない程度なら、多少のお手伝いをしたいと思う」を合わせた『手助けしたい』人の割合は、64.8%となっています。



- その他回答
- お年寄りや障がいがあって出来ないようなら雪かきとかはしてあげたいと思う
 - 手助けを求められたら出来る範囲で手助けする
 - 相談する気がしない

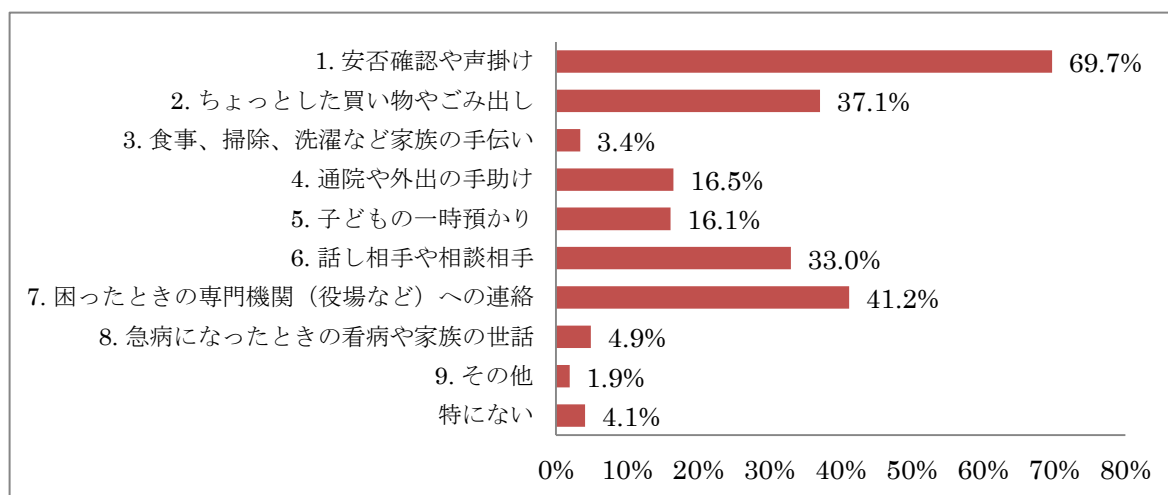
(9) 生活上の問題でご近所の人たちを手助けした経験【問 12】

「これまでほとんどない」の 53.9%が最も多く、これに「全くない」23.6%、「時々頼まれてすることがある」14.6%が続いています。「日ごろから手助けをしている」「時々頼まれてすることがある」を合わせた日常的に手助けをしている人の割合は、18.0%となっています。



(10) 本人とご近所が、日常生活に不自由を感じる状態になったとき、お互いに助け合えると思うもの【問 13】※複数回答

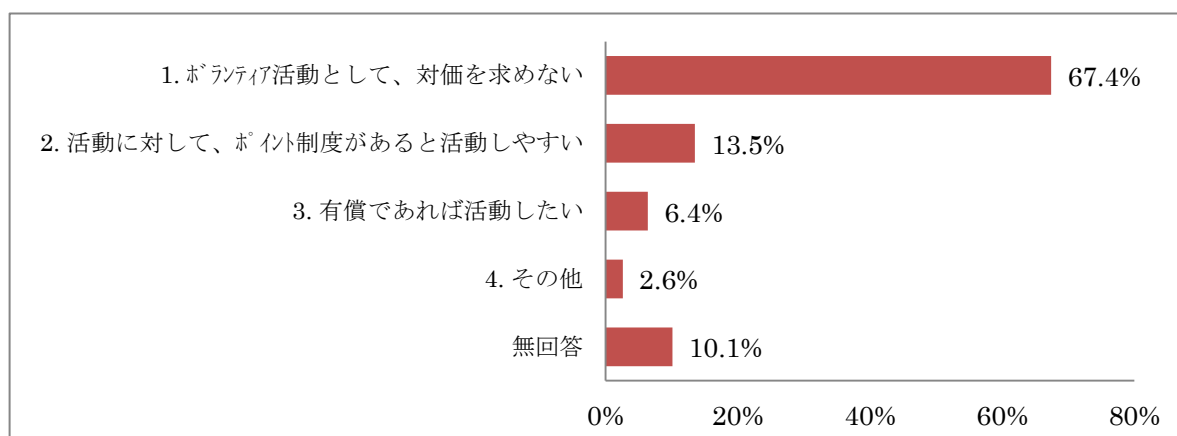
「安否確認や声掛け」が 69.7%で最も多く、次に回答割合が高い方から、「困ったときの専門機関への連絡」41.2%、「ちょっとした買い物やごみ出し」37.1%、「話し相手や相談相手」33.0%、「通院や外出の手助け」16.5%の順となっています。



- その他回答
- 雪かきとかその人の家に入らずに出来るもの
 - 雪かき（2件）
 - 好きなものや美味しいものを届ける

(11) 助け合い活動を行うのに、最も近い思いは【問 14】

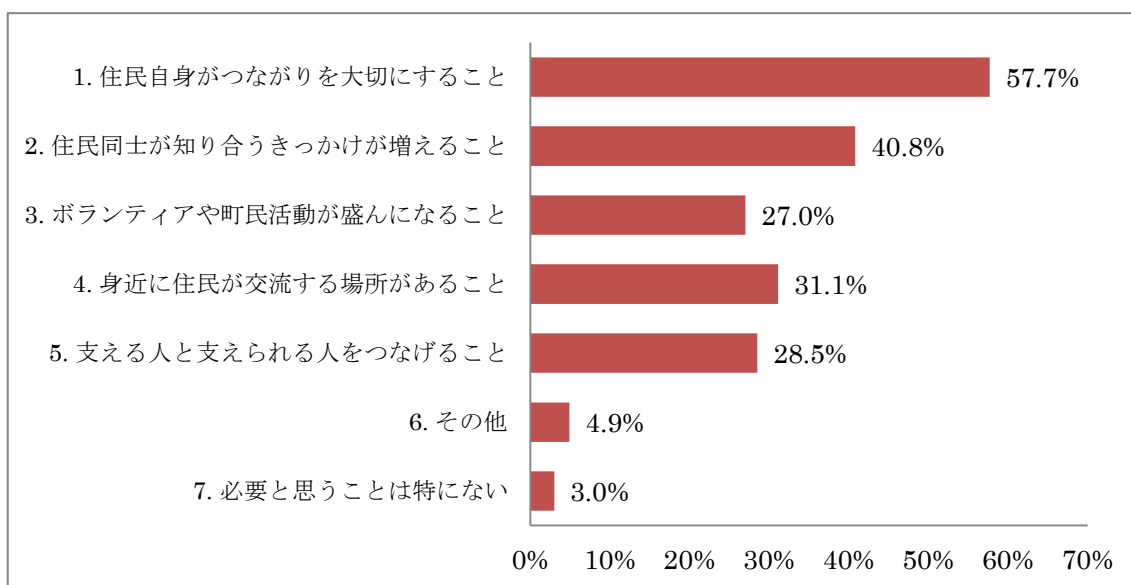
「ボランティア活動として、対価を求めない」が 67.4%で最も多く、つぎに「活動に対して、ポイント制度があると活動しやすい」13.5%の順となっています。



- その他回答
- される側に立ったとき、対価があった方が気持ちが楽かもしれない。
 - 自分がする時はボランティアでいい

(12) 地域住民が支え合うために必要なこと【問15】※複数回答

「住民自身がつながりを大切にすること」が57.7%で最も多く、以下、回答者が高い方から「住民同士が知り合うきっかけが増えること」40.8%、「身近に住民が交流する場所があること」31.1%、「支える人と支えられる人をつなげること」28.5%、「ボランティアや町民活動が盛んになること」27.0%の順となっています。



その他回答 ○班ごとのイベントなど、前例にとらわれずに沢山行っていくべきだと思う。また子供会（町内会）など子どもメインのものが充実してほしいと思う。

○たいそうに考えずとも手をさしのべられる心を持つことが一人一人に大切だと思う。

○愛町心と一日一善の生かせてもらっているお礼だと思う。

○顔見知りの人には出来る事があれば助けたい

○何に困っているか知れること

○老人が活動出来る仕組み、若い人が働きやすい環境作りを進める。時間を掛けた活動の定着化。長期的に見据えた計画の実施。

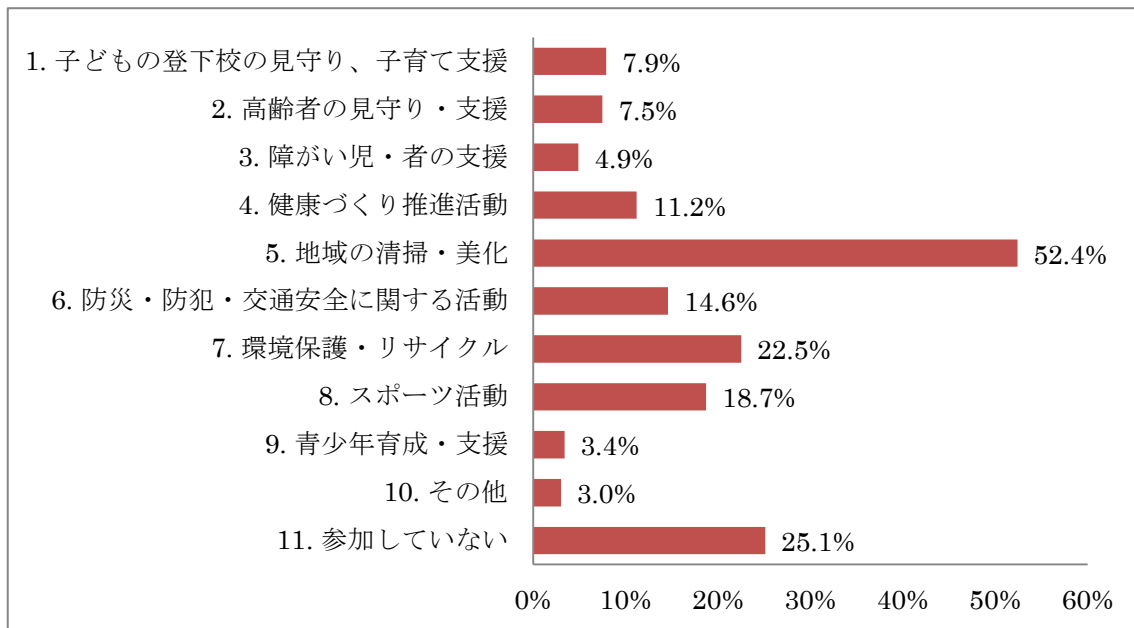
○小さな町の中で人のうわさ話を大きく広げない事。

○「信頼」という絆を築けるかという事

3. 地域活動について

(1) 参加したことがある地域活動の分野【問16】※複数回答

「地域の清掃・美化」が52.4%で最も多くを占め、これに「参加していない」25.1%、「環境保護・リサイクル」22.5%、「スポーツ活動」18.7%の順となっています。

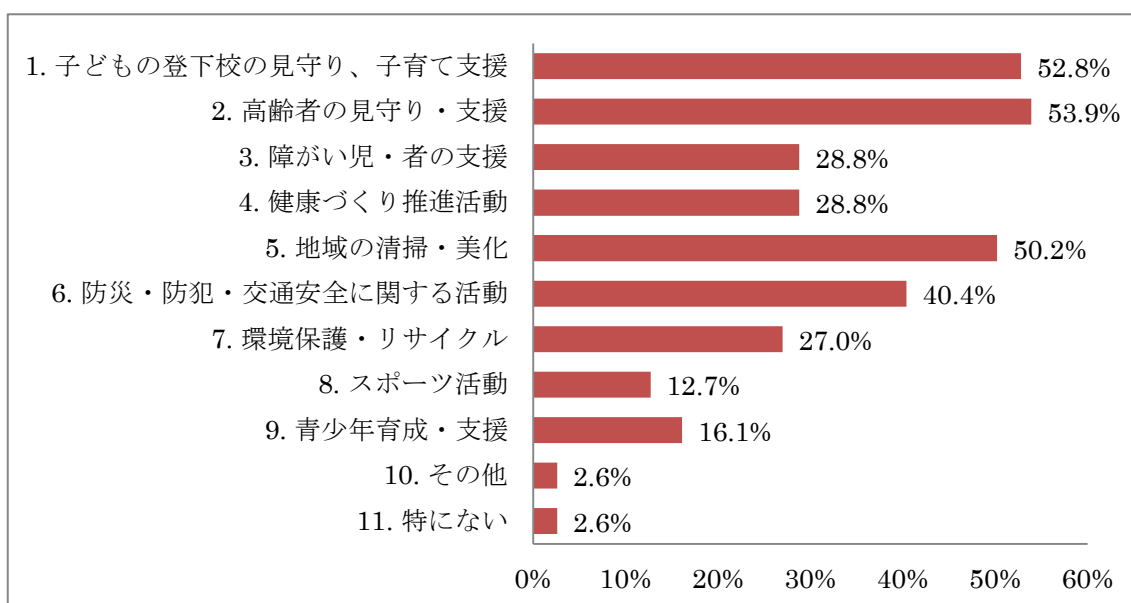


- その他回答
- ふれあいサロンのボランティア (2件)
 - お祭り関係
 - 地域活性化を目的としたイベント
 - 帰省してきたばかりなのでまだ参加した事が無い

(2) 地域の人たちで協力して取り組んでいくことが必要なこと【問 17】※複数回答

「高齢者の見守り・支援」が 53.9%で最も多く、これに「子どもの登下校の見守り、子育て支援」52.8%、「地域の清掃・美化」50.2%、「防災・防犯・交通安全に関する活動」40.4%の順となっています。

地域活動について問 16 では参加経験、問 17 では必要性を聞いており、選択肢ごとに回答割合を比較すると、「子どもの登下校の見守り、子育て支援」「高齢者の見守り・支援」「障がい児・者の支援」「健康づくり推進活動」「防災・防犯・交通安全に関する活動」については、必要性の割合と比べて実際の参加経験の割合が極めて低く、必要性は認められているものの実際の活動までに至っていない人が多いことがうかがえます。

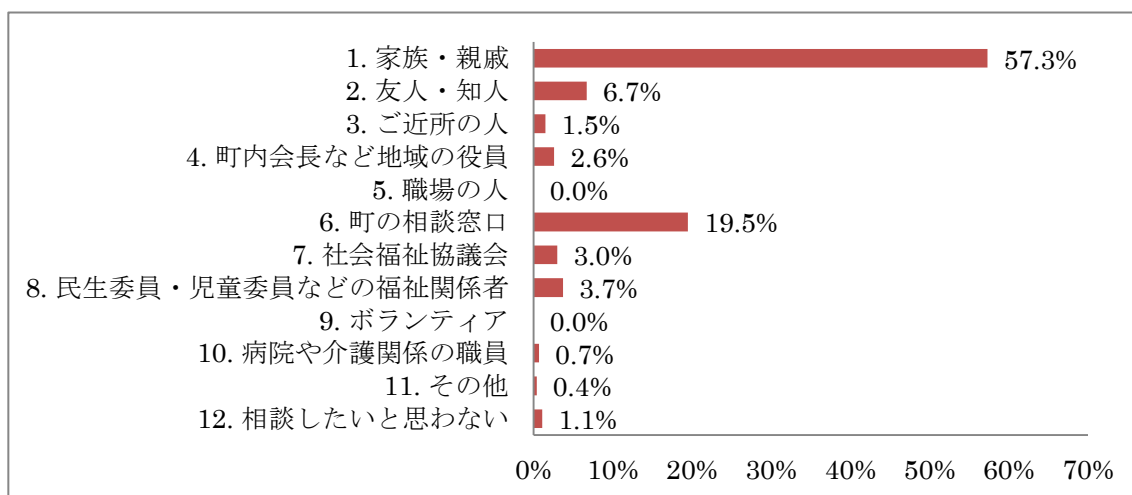


- その他回答
- 空き地の草刈り、道路沿いの草刈り、花壇の草刈り、空き地の草刈り
 - 町の全体像が見えてこないで、もっと町民が色々な面（高齢者、障がい者、その他）が分かると協力出来るが、ほとんど分からないので自分たちのことしか考えられない。
 - 民生・児童委員・婦人防火クラブ、町内会婦人部長
 - ご近所で助けられるといいですね
 - 車を使えなくなったら買い物が不便なので、弁当や必要物資を届けること
 - 町内会の活動や行事に若い人の参加が少なかったり、出席者も似たような顔ぶれになっている。参加が乏しい役場職員や農協職員等が積極的にならない限り、地域の協力にはならないのではないかと。
 - 町内だけではなく外部との交流

4. 生活に困っている方への支援について

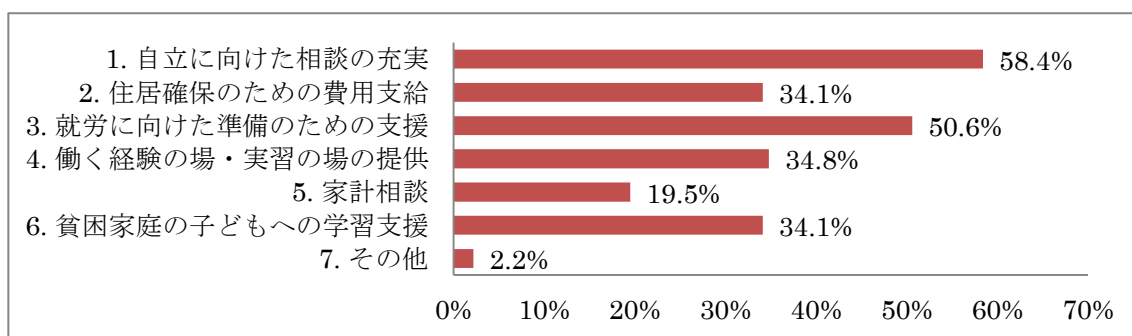
(1) 本人や近所の方が、経済的な問題や失業などの生活上の問題で不安を抱えたとき、相談したい相手【問 18】

「家族・親戚」が 57.3%で最も多くを占め、これに「町の相談窓口」19.5%、「友人・知人」6.7%、「民生委員・児童委員などの福祉関係者」3.7%、「社会福祉協議会」3.0%の順となっています。



(2) 経済的な問題や失業など生活に困っている方への支援として、町として取組が必要なこと【問 19】※複数回答

「自立に向けた相談の充実」が 58.4%で最も多く、これに「就労に向けた準備のための支援」50.6%、「働く経験の場・実習の場の提供」34.8%、「住居確保のための費用弁償」「貧困家庭の子どもへの学習支援」34.1%の順となっています。



- その他回答
- まずは本人の話を聞いてあげることが第一だと思います。話を聞いて、不安を取り除いてあげることが大切だと思います。
 - 相談内容に応じてどの項目も必要では、的を得た支援を。
 - 国の政治を国民中心の政治にしていく事が今後の課題である。

5. ご意見・要望

- 安心して暮らせる土幌町になる事を信じて…
- 困った時や助けが必要な時に気楽に相談に行ける窓口があれば良いと思います。
- 支える人と支えられる人のネットワークがあり、困った人が相談に来た時に、支える人がすぐ行動出来るようなシステムがあれば良いと思います。
(支える人を登録してもらい、スマホで一斉に流して、その中からすぐ行動出来る人をピックアップして支えられる人の所に行ってもらおう仕組みはどうでしょうか?)
- 深く考えた事がない内容でした。
- 夫婦で暮らしていますが、二人とも病気がちで大変です。なんとか二人で暮らしております。大変今後の事が不安になります。
- 土幌町の人口も減り農家でお嫁さんの居ない方がたくさん見うけられます。婚活活動を町でも取り組んでいただけたら良いと思わせて頂いてます。
- 地域を支える次世代の若者の育成が必要と思う。少子化をなんとかしなければ地域福祉を支える事が出来なくなる。若者の結婚を推進することが急務だと思う。
- 子どもたちのためによりよい町にしてください。よろしくお願いします。
- 最近の傾向として例えば葬儀一つ見ても地域(町内会)のお手伝いは受付のみで他の事は全て葬儀屋さんに任せている事が多くなっている。土幌町の農村地域でもその傾向である。特に気になっているのは葬儀委員長の挨拶まで葬儀社の方が行っている事もある。このことは決して好ましいことではありません、このことは地域の崩壊の元に繋がる事にもなりかねません。以前のように町内会の方々が遺族の食事まで作れとは言えませんが、出来るだけ地域の方々と協力して故人を送るよう指導されることを社会福祉協議会に望みます。
- 子どものための福祉には助けられています(金銭的支援を含めて)出来れば年間で予定されている分を前もって通知してほしいです。予期せぬ支援で助かることはありますがそれまで不安でいることが少々つらい時があります。
- 働く人の姿勢や態度は意欲とは別に「人間づくり」(質の向上)が基本だと思います。長く続けられるように、人間関係作りが出来るように支援というより教育が大切だと思います。
- 「労働」という基本的な事を学ぶ必要のある年代別の就労(単発のパートなども)支援、教育も町や商工会で取り組むと、より良い環境をつくる事が出来るのではないかと思います。
- 市街地に高齢者と若者が交流しやすい場所をつくること
- アンケートを取り、空気抜きをするのではなく、町民が自由に参加出来る集いをどんどん計画してほしいです。

- みんなで助け合える町にしてほしい
- 農村地域に住んでいますので、他人様の家庭の事には入れ込めないで、今回のアンケートに戸惑いました（皆が家族と住んでいるので）
- 家族が居れば困った事の大半は解決出来ると思いますが、一人になった時は本当に近所の方や様々な方にお世話になり生きていくことになるかと思っています。
- そんな時に最後の住まいはどこかが、大切になるのではないかと思います。現状を見る限りでは簡単に施設にも入れないようですから、どうなるのかなと思ったりします。又、病気になったり認知になったりした時、恥ずかしいことではないということを皆が心に持って助け合えた良いなと思っています。
- 障がい者も認知症になった人も皆、おなじ人間であるということを皆が心にもって日々過ごし、人に対してもやさしい町であって欲しい。
- 息子は4年生で5時半まで学童に居ます。しかし、私は7時過ぎまで仕事をしています。つまり少なくとも2時間は息子一人で留守番をしています。
とてもかわいそうな思いをしています。何とかならないでしょうか。火事や事件があったら町が責任を取ってくれるのでしょうか。何とかしてほしいです。助けて下さい。
- 役場職員に対して一度嫌なことをされそれ以来役場に用事があっても行く事すら出来なくなってしまうています。もっと住民の事を考えていただければと思います。
その方は既に退職されていますが、顔を町内で見ただけで身体が動かなくなります。
- 世界の中で見れば日本の福祉政策は行き届いている方だと思う。これからの高齢社会を考えれば高齢者は自らの置かれている立場をもっと自覚し、社会に対する貢献を考えなければならないと思う。社会福祉に関する行政のサービスと社協の取組についてはほぼ満足し、感謝しています。
- 商工会、農協、病院、警察、役場が一体化することが大切ではないか
- ご近所さんであっても挨拶もしない、何の仕事をしているのか子どもがいくつなのか、そんな方もいらして、あんまり人と関わりたくないのかなとも思いますが、まわりを見わたすと高齢の方、一人暮らしの方も多く居ますので、困ったことがあった時には声をかけたり助けてあげたいとは思っています。
夜、電気がついてなかったりすると気になります。年齢に関係なく、お話、コミュニケーションがとれば良いのですが
- どんなボランティアが必要とされているか知れたら是非何かやってみたい。
- 福祉は大切な事です。私達も年を取るにしたがい、不安がないとは言えませんし、土幌は今仕事があるので住んでいます。仕事なくなった時にこの町に住み続けるのか？という住まないと思います。不便な環境ですよね。まず、病院が一番です。帯広まで行くのは面倒ですが仕方ない状況です。
- 転勤族なので愛着が無いのも事実です。町づくりにしても福祉についても少し他所の町とは違う気がします。住みよい町が自然に福祉にもつながると思います。

- 最近、発達障がいの子も達が増えてきていると思うので、その障がいを理解してほしいのと、そこに関わる人たちがもっと理解してもらえたらと思います。
- 町内でコミュニティバスを利用している地域もあるようですが、中士幌にも来てくれたら嬉しいです。
- 65歳で農業をしており、士幌で生活をしたいと思いましたが、除雪等を思い帯広のマンションで生活をしています。でも士幌の老人クラブ、地域の人と顔を合わせていますので淋しいとは思いません娘の近くに居ますので安心しています。
- 今は車の運転が出来るのでイメージしにくいですが、車を手放した際の交通手段が不安です。買い物や通院などで使えるようなコミュニティバスを走らせてほしい（町内会も回るレベルで）
- これから年々高齢者が増え自分としては高齢になっても若いときには考えた事もなく、仕事に追われ又生活も苦しかった時代もあり私も戦前の生まれで食べるものもうまい物も腹一杯食べれない時代を乗り越えてきた今の時代は私も年もあつという間に70歳後半になり、自分の人生も終わったような感じですが、私も60歳ぐらいの気持ちを持ち若々しく日々を食事にも気をつけ家族の健康自分も健康で過ごすことの感謝の日々でいますが、現在は平均寿命も伸び、政府としても健康で家族にも迷惑を掛けず100歳ぐらいまで自宅で過ごせるならば、これほど幸せな喜びは無いでしょう。みんなそれを望んでいると思いますが、人は皆人生は異なり、私も体に気をつけて自分の家で死ぬまで暮らしたいつもりでいますが、自分の病気、最期はどのような死を迎えるのか？又、老人ホームも中々入所出来ないようですし、有料老人ホームは金が掛かるので入所出来るか心配ですが、出来れば家族に迷惑が掛かるようになれば、すぐにでも入所出来る老人ホームの増築を望んでいます。
- アンケートだけに終わらず実行に移して下さい
- 調査するなら全世帯にアンケート調査した方がより良い結果が出ると思います
- 年齢を重ねて培った知恵や知識を生かせる仕事に携わりながら、多少なりとも責任という意識を持って程々の日常を送れたらと思います。
私は身体障がい者（膝が人工関節）ですが、出来る限りの自立した生活をしたいと考えています。住み慣れた地で終わりたい。只それだけが望みです。
小学校が廃校になったなら、老人や身障者が自由に使えるというフリースペース的な発想はいかがでしょうか。田舎のばあちゃん達から野菜を持ち寄って週に何日かレストランを開いたり、温泉が近いので、みんなでタオルを持ち歩いて温泉に行くとか（足、腰の運動を兼ねて）その温泉もドイツにあるような、リハビリを兼ねた（湯治的な）水着を着て、ウォークやストレッチの出来るような、広い、深い浴槽があればと。毎日温泉に通いながら、ふと秋の夜長に思った事でした。
- 付かず離れず程良い関係が築ければ良いですが…。今の時代難しい事も多いですね。なので求めている人が求めやすい場所があったり制度があったりすると良いと思います。

- 地域の中で助け合っていくのが一番だと思うのですがそれぞれの考え方があるので、いくら近所様とはいえどこまで手を貸したらいいのか
- 悩みます「私ならここまでして欲しい」と思っても相手はそうは思わないかもしれない。普段からのお付き合いがとても大切だと思います。求められても出来る事と出来ない事があるでしょうし、住み良い我が町になることを願います。
- 地域の人がボランティアで小学校に行ってお手伝いが出来たらいいと思います（勉強を教える等）子どもが小さくて中々地域の中での支え合い活動には余裕が無くて参加出来ないのが現状です。また、もし自分が何かしら困った状況に陥ったとしても見ず知らずの人に助けを求めるよりも家族や友人など普段から関わっている人に求めると思います。出来ればもっと土幌町役場や社会福祉協議会の方々にどんな支援ならしてもらえるのか具体的な内容を知らせてもらえるとありがたいです。
- 福祉の充実を願う